



トロイ遺跡の木馬=上の窓の二人は我々 映画「トロイ」で使われた木馬

トロイ遺跡の木馬は最近作り替えたばかりで、歴史を全く感じさせない。木馬は観光客用で、中にも入れる。腹の部分にはいくつもの窓があり、顔を出して記念写真が撮れる。しかし、遊園地のように、遺跡の木馬にはふさわしくない。

観光客用に窓があるのかと思っていたら、古代のつぼに描かれたトロイの木馬にも窓があるのには驚いた。さて、ギリシャ連合軍が総力をあげても攻略できず、トロイ戦争は十年も続いた。そこで、ギリシャ軍のイタカ王オデュッセウスは奇策を考えた。大きな木馬を作り、中に兵を忍ばせ、トロイの神に捧げるようにトロイ城門前に置いた。そして、ギリシャ軍の陣地を焼き払い、退却したように見せかけたのである。

トロイ軍はギリシャ軍が撤退したものと思い込み、自分たちの神に捧げられた大きな木馬を城内に運び入れ、勝利の祝宴を開いた。その夜、寝静まったところで木馬の中に潜んでいた兵が出て城門を開け、待機していたギリシャ軍が城内になだれ込み、トロイは一夜にして滅びたのである。

こんなにとろい（トロイではない）とんなまな話があるのか。敵が作った木馬の中ぐらいは当然、チェックすべきだろう。とにかくこの戦いでトロイの男性と子どもは全員殺され、女性は奴隷としてギリシャに連れて行かれた。あまりに残酷な行爲にトロイの神々は怒り、ギリシャ軍が帰路についた際、嵐などで一部の部隊は滅びた。無事に帰国したオデュッセウスはといえは留守中、妻は別の男に寝取られ、揚げ句の果てに殺されてしまう。トロイ戦争後の物語が、ホメロスが書いたもう一つの叙事詩「オデュッセイア」である。トルコ巡礼から帰って図書館でホメロスの「イーリアス」と「オデュッセイア」を借りてきた。活字は小さく、大変な長編。虫眼鏡まで出して挑戦中である。巡礼は出発までが三分の一。巡礼中が三分の一。帰ってからが三分の一。この三つのパランスがとれて「良き巡礼」となる。

ホメロス、シユリマン、トロイ戦争、トロイ戦争とくれば残るはトロイの木馬だ。トルコ巡礼十五日間の最初の夜は、長いダーダネルス海峡の西端、トロイ遺跡近くのチャナッカレ。ホテル近くの海岸公園には映画「トロイ」撮影の際に使われたトロイの木馬が展示してある。

翌朝、トロイ遺跡に行くと、入り口にまたトロイの木馬があった。遺跡の方の木馬は最近作り替えたばかりで、歴史を全く感じさせない。木馬は観光客用で、中にも入れる。腹の部分にはいくつもの窓があり、顔を出して記念写真が撮れる。しかし、遊園地のように、遺跡の木馬にはふさわしくない。

観光客用に窓があるのかと思っていたら、古代のつぼに描かれたトロイの木馬にも窓があるのには驚いた。さて、ギリシャ連合軍が総力をあげても攻略できず、トロイ戦争は十年も続いた。そこで、ギリシャ軍のイタカ王オデュッセウスは奇策を考えた。大きな木馬を作り、中に兵を忍ばせ、トロイの神に捧げるようにトロイ城門前に置いた。そして、ギリシャ軍の陣地を焼き払い、退却したように見せかけたのである。

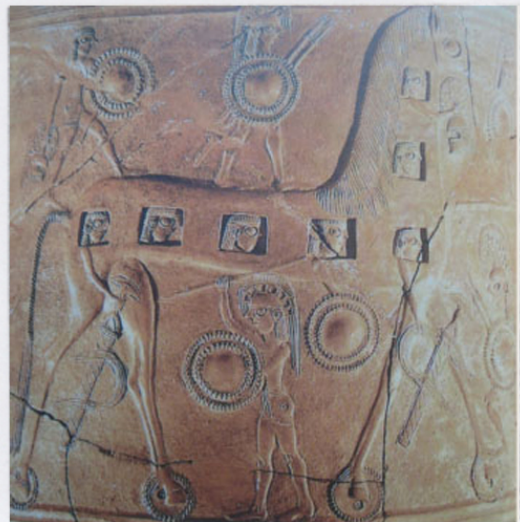
トロイの木馬の教訓は「油断大敵」。心して一日々々を過ごしたいと思うのである。（元山口放送取締役ラジオ局長）

トロイの木馬

ホメロス、シユリマン、トロイ戦争、トロイ戦争とくれば残るはトロイの木馬だ。



観光客用に窓があるのかと思っていたら、古代のつぼに描かれたトロイの木馬にも窓があるのには驚いた。さて、ギリシャ連合軍が総力をあげても攻略できず、トロイ戦争は十年も続いた。そこで、ギリシャ軍のイタカ王オデュッセウスは奇策を考えた。大きな木馬を作り、中に兵を忍ばせ、トロイの神に捧げるようにトロイ城門前に置いた。そして、ギリシャ軍の陣地を焼き払い、退却したように見せかけたのである。



古代のつぼに描かれた木馬